

## クニコさんの 英国懐話⑱ ガラスのスタンド



イギリスでよく見かけるアイテムに、ガラスのケーキスタンドとフルーツスタンドがあります。色々なフェアやアンティークショップで見かけますが、用途が違うのに、いつも同じ場所と同じ物として売られています。でも、見分け方は簡単で、載せる部分が、平らなものがケーキで、深くカーブしたものがフルーツのためのものです。

ケーキスタンド(写真①②)は、ケーキをスタンドの上で切り分けられるよう、均一の間隔で模様が描かれています。大半がプレスガラスといった、大量生産が可能なもので、1920年代から1950年代、イギリスで好まれて生産されました。数があるため、比較的手頃な値段なので、ガラスの繊細さを楽しむ普段使いのアイテムとして魅力的です。中には、付いているマークで年代から月日までわかるスタンドもあります。写真①は店内にある、1868年9月7日に作られた物と判別できるスタンドです。年代が古いだけあって、ガラスも水平でなく不恰好な感じが、なんだかかきかれます。大きなフェアで手に入れたのですが、おじいさんがとても



誇らしそうに売っていたのが印象的でした。また、フルーツスタンド(写真③)は、もちろん、果物を盛ってテーブルに置くのにぴったりですが、水をはって花を浮かべても素敵です。いずれも、デザインに古さが残っていて素敵なおアンティークです。

さて、10月後半、今年3回目の買い付けに出掛けますが、半分リサーチの予定なので、今回はちょっと面白い買い付け紀行をお届けできればと思います。

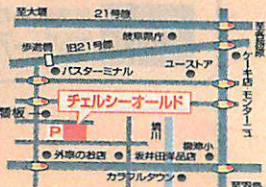
10月6日、店内で「アンティークのお話&季節の紅茶とお菓子」の会を開きました。皆さん、お話よりお茶やケーキに惹かれたそうですが、楽しくお話できました。今回は12月1日、1名800円です。定員10名なので、興味のある方は早めにご予約下さい。

「チエルシーオールド」長岡訓子



ディールーム併設しました  
**チエルシーオールド**  
営業時間/11:00~18:00 休/火曜日

読者プレゼントあり  
羽島郡柳井町佐渡2526  
TEL.058-270-0543



## クニコさんの 英国懐話⑰ カフェオレボウル



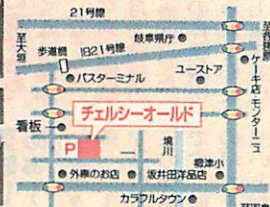
カフェオレボウルは、その名の通り、フランスで朝食にカフェオレを飲む時に使われるボウルです。日本では20年程前、おしゃれなお店でカフェオレやココアを出すのに使われたのが第一次ブームかと思われませんが、現在、アンティークのカフェオレボウルがまたまた注目の的なのです。カフェオレボウルの形が日本のどんぶりのように似ていて、日常的に使いやすいんでしょうね。朝食にはシリアルやヨーグルトを、昼食には麺類やどんぶり物、夕食には和え物やデザートを入れて、食卓で一日中大活躍です。もちろん、庭の花を活けてみてもよし。インテリアの一部としての登場も多いので、アンティークをガラスの扉の向こうに飾ってしまうのではなく、日常的に楽しみたい、普段の生活を素敵にしたいという人に大人気なのです。特に人気なのは、SARREGUMINES(古くから焼き物の産地として有名)産のDIGOIN社の物で、コレクターも多く、一番価値があるとされています。でも、例え無名の物でも、花柄が可愛かったり、色が好きだったりしたら、集める価値は十分あると思います。



とはいえ、50年から100年も前の物ですから、カケやヒビのある物も多く、半年前にフランスで買い付けた時は、状態のいい物を探すのにとっても苦労しました。写真のうち、水玉模様のボウルは、パリのアンティーク店のオーナーが分けてくれた秘蔵のレア物です。私としては、カケやヒビにも年月を経た魅力や存在感を感じるのですが、皆さんはいかがですか？

さて、10月から定期的に、アンティークの話聞きながら季節の紅茶とお菓子をいただく会を、店内で開催します。初回は10月6日(水)午前11時から、料金は800円です。電話にてご予約を。詳細はお問い合わせ下さい。

「チエルシーオールド」長岡訓子



ディールーム併設  
**チエルシーオールド** 読者プレゼントあり  
羽島郡柳井町佐渡2526  
営業時間/11:00~18:00 休/火曜日 TEL.058-270-0543

CAFE

アンティークのお話&季節の紅茶とお菓子

10月6日(水)11:00 料金800円

チエルシーオールド  
tel.058-270-0543

「英国懐話」でおなじみ、長岡訓子さんのお話をアンティークに囲まれて聞きながら、季節の紅茶とお菓子をいただく会。要予約。詳細はチエルシーオールドへ。



クニコさんの  
**英国懐話** vol.20  
道路を走っていると……



が休みなので食事は作れません。ですから休業です」の張り紙が！  
なんてイギリスらしい……。その日は立ち直れませんでした。



ヘイスティングスの海岸

イギリス滞在中、交通手段はもっぱらレンタカー。走っていると色々なものを発見します。素敵な建物だなんて思いながら近づくと、アンティークショップやインテリアショップ、レストランだったりすることが多いのです。食いしん坊の私は日曜日になると、美味しいサンデーランチを絶対に食べる！と心に誓い、美味しそうなお店を探します。イギリスでサンデーランチといえば、ローストビーフ。田舎でひっそり、昔から営業しているようなお店のローストビーフはとっても美味しいので、そんなお店を一生懸命探します。今回、間違いない！と思えるお店



オールドコテージレストラン

(オールドコテージレストランの看板)を、高速道路上から発見しました。今日は何がなんでもあのお店でサンデーランチだ！と張り切って高速を降りたのですが、どの道を通っても目的のお店に到着できないのです。でも、あきらめない私。ぐるぐる回った挙句、遠くに車を置いて歩き、やっとたどり着いたのでした。そうしたら表に「今日はコック

そんなこともありませんが、車で南部を旅行

している時、イギリス史上有名なヘイスティングスという海辺の街で、他所では絶対見られないのではないかと、思うほど、美しい海を見ました。前回も少し触れましたが、イギリス南部の街には、観光にピッタリのとて素敵な景色がたくさんあります。機会があれば、皆さんぜひ訪れてみて下さい。その時は、サンデーランチの美味しそうなお店を探すのもお忘れなく……。

さて、「アンティークと季節の紅茶の会」は、ご好評をいただき、2月は2日(水)と16日(水)の2回開催します。各日とも時間は午前11時、会費800円です。お申し込みをお待ちしています。

「チエルシーオールド」長岡訓子

ティールーム併設

**チエルシーオールド** TEL.058-270-0543

営業時間/11:00~18:00 休/火曜日 (12/27~1/7休業)



読者プレゼントあり

羽島郡柳津町佐波2526

TEL.058-270-0543

営業時間/11:00~18:00 休/火曜日 (12/27~1/7休業)

クニコさんの  
**英国懐話** vol.19  
2004年 買い付け紀行IV



けては大喜びで写真を撮り、美味しいお茶をいただき、すっかり観光気分を満喫しました。街全体がチューダー様式のライという街で、今も人が住んでいるのを実際に見ると、その素晴らしさに感動します。ライやヘイスティングスといった南部の街は、開放的で、北部とは違った魅力があります。そして、やはりイギリス、どの街に行ってもアンティークショップはあるものです。仕事でなくともアンティークに興味のある私は、ショップめぐりをしてしまうのでした。

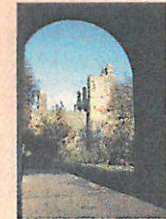


10月中旬、名古屋空港から成田を経由してヒースローに降り立つと、イギリスはすっかり冬。ロンドンの寒さを把握していなかったのん気な私は、結構な薄着なのに、入管に並ぶ人たちはロングコートなど真冬の装いです。ともあれ、夕方にいつものようにレンタカーで北へ向かい、深夜、翌日にアンティークフェアが開催されるニューアークに到着。フェア当日は早朝4時起きで、辛いほどの寒さにすっかり減ってしまいました。でも、4000軒ものアンティークディーラーが立ち並ぶ大きなフェア会場で、寒いなんて言っではられません。少しでも良い物を、他の業者さんに取られたくない！と、夢中で頑張りました。とはいえ、こんな大きなフェアでも、やはり良い物、買いたと思う物が年々減っていて、思うように買い付けは進まず、つくづく、アンティークは限りがあるんだなと実感してしまいました。



今回は全ての買い付けが終わってから、イギリス南部を、リサーチを兼ねて旅行しました。仕事以外の旅は初めてなので、14、15世紀のチューダー様式の建物を見つ

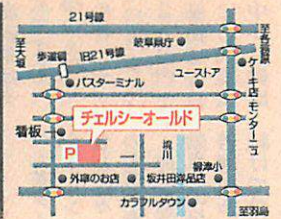
さて、12月1日(水)午前11時からの「アンティークと季節の紅茶の会」は(買い付け紀行とクリスマスのお茶)、会費800円です。興味のある方、ぜひご参加下さい。お待ちしております。  
「チエルシーオールド」長岡訓子



ティールーム併設

**チエルシーオールド** TEL.058-270-0543

営業時間/11:00~18:00 休/火曜日



読者プレゼントあり

羽島郡柳津町佐波2526

営業時間/11:00~18:00 休/火曜日

ANTIQUÉ

アンティークのお話&季節の紅茶とお菓子

読者プレゼントあり

12月1日(水)11:00 会費800円  
(買い付け紀行とクリスマスのお茶)

チエルシーオールド 羽島郡柳津町佐波2526  
tel.058-270-0543

「英国懐話」でおなじみ、長岡訓子さんのお話を、

アンティークに囲まれて聞きながら、季節の紅茶とお菓子をいただくアットホームな会。要予約。詳細はチエルシーオールドへ。



クニコさんの  
**英國懐話** vol.22  
100年前のステンドグラス



イギリスのステンドグラスが100年経っても割れ  
せず、良い状態を保っているのはなぜでしょう。

まず、一般にイギリスのステンドグラスは、他の国の  
ものに比べて厚く、丈夫にできていと言われています。  
その上、地震も少ないので、良い状態で残っているよう  
です。日本のように地震が多いと、100年も経てば、やは  
りひびが入ったりしてくるでしょうね。そして、もう一  
つ大きな理由が、道路から家までの距離。皆さんもご存  
知のように、イギリスではガーテニングが盛んです。ほ  
とんどの家の前に美しい庭があり、そのため、道路から  
家の壁まで距離があるのです。これは日本の狭い土地では、  
望んでもなかなか叶わないことですね。

という訳で、外壁にステンド  
グラスを取り付けたいという方には、  
ステンドグラスをガラスではさむ  
サンドウィッチ方式をお勧めして  
います。でも、実際にはめ込まれた  
方のお家の写真を見ていただくと、  
単なる明り取りというだけでなく、  
その優しい色合いに、現代のステ  
ンドグラスにはない安らぎが感じ



古材で作った扉

られます。新築にあたって現  
代物とアンティークの両方  
を取り入れた方が、毎日見て  
いると遠くが良くなるとおっ  
しゃっていました。比べてみ  
て初めて分かる、古いステ  
ンドグラスの優しい色合い。皆  
さん、どうぞ気軽にお店へ、100年前のステンドグラス  
を見にいらして下さいね。

さて、恒例になりました「アンティークのお話の会と  
季節の紅茶の会」は、次回は4月13日を予定しています。  
また、買い付けに出掛けるため、3月25日～4月9日、お  
店がお休みになります。その前の3月2日から店内のセー  
ルをいたしますので、この機会に自分だけのアンティ  
ークを見つけていらして下さい。お待ちしております。

「チェルシー・オールド」長岡訓子



ヨーロッパ的な両開き扉



ティールーム併設  
**チェルシー・オールド** 読者プレゼントあり  
羽島郡柳津町佐波2526  
営業時間/11:00~18:00 休/火曜日 TEL.058-270-0543



室内の壁へのはめ込み

クニコさんの  
**英國懐話** vol.21  
ステンドグラスの活用法



お客様から、「ステンドグラスって、どんな風に使えばいいの？」  
という質問をよく受けます。そのような疑問を持たれるのは、教会  
に使われている、とても美しいけれど宗教色の強いステンドグラス  
(写真①)を思い浮かべられて、それを自宅へ取り入れることに抵抗  
があるせいではないでしょうか。当店で扱っているステンドグラス  
は、元々が一般家庭の壁に埋め込まれていたり、窓としてはめ込ま  
れて開閉できるようになっていたものがほとんどなのです(写真②)。



イギリスでステンドグラスは、教会と住  
宅とでは、全く別のものとして考えられて  
いたようです。ヴィクトリアンと呼ばれる  
ヴィクトリア女王の時代(19世紀後半から  
20世紀始め)は、景気が良く華やかな時代  
だったため、その頃の美しく華やかなものが、  
アンティークとしてたくさん現代に残って  
います。この時代、住宅にステンドグラスを  
入れることが大流行したようで、当時の建  
物にはほとんどステンドグラスがはめ込ま

れていて、明り取りとして利用されています。

お家を新築の際に、ステンドグラスを選びに来店される方には、元々  
の使用法である壁への埋め込みを、一番お勧めしています。やはり光  
が入ることによって、想像以上の美しさがあるからです。他に、扉な  
どに使用されるのもお勧めです。店内には12月の終わりにイギリス  
からやってきた、たくさんのステンドグラス達が次の永住先を待つ  
ています。小物や家具も入荷していますので、ぜひ遊びにいらして下  
さいね。次回も、もう少しステンドグラスのお話を。

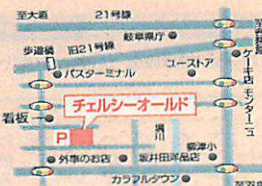
さて、2月の「アンティークのお話と季節の紅茶の会」は、家具のお  
話です。2日(水)と16日(水)の2回、各日とも午前11時から、会費  
800円です。定員にもう少し余裕がありますので、興味のある方はお



ティールーム併設  
**チェルシー・オールド**  
営業時間/11:00~18:00 休/火曜日

電話にてご予約下さい。

「チェルシー・オールド」長岡訓子



読者プレゼントあり  
羽島郡柳津町佐波2526  
TEL.058-270-0543

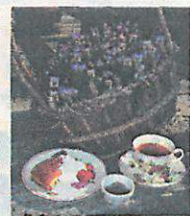
**アンティークのお話&季節の紅茶とお菓子**

2月2日(水)・16日(水) 各日11:00 会費600円

チェルシー・オールド 羽島郡柳津町佐波2526

tel.058-270-0543

「英國懐話」でおなじみ、長岡訓子さんのお話を、アンティ  
ークに囲まれて聞きながら、季節の紅茶とお菓子をいただくアッ  
トホームな会。イギリス紀行も楽しい。好評につき、2月は2回  
開催。要予約。詳細はチェルシー・オールドへ。



クニコさんの  
**英国懐話** vol.23  
**ベントウッドチェアー**



ベントウッドチェアーは椅子の中でもとても使い道が多く、人気があります。一本の木を曲げた背もたれの椅子を、皆さんも一度はご覧になった事があるかと思います。カフェやレストランでも、似た感じの椅子が今でも使われていますね。

本来、木は曲げれば折れてしまいますが、蒸気で熱して柔らかくしてから鉄で曲げ固めるという、ベントウッドチェアーの技術を発明したのは「ミヒャエル・トーネット」という人物です。彼は大量生産が可能な曲げ木の家具の発明に成功し、1857年に特許を取得しています。その後、1869年に特許が消滅してからは、色々な家具メーカーが同じような曲げ木の椅子を作り始めました。形もメーカーもたくさんあるのは、それだけ爆発的に売れた椅子だったからのようです。



①

トーネット社は元々オーストリアの会社ですが、大量生産のせいだ木がなくなると、材料であるブナの木を求めて各地に工場を

作ったため、色々な場所に工場があり、生産地もまちまちなのです。材質はブナの木ですが、形はたくさん種類があります。座面に焼印を押してあるのが特徴です。とても軽く、持ち運びに便利なので、何種類かの椅子を別々でダイニングに置いたり、玄関で花台にしたり、リビングで雑誌を置いたりと多用途なため、当店では大人気の椅子です。写真①はトーネット社のオリジナルのベントウッドチェアー。写真②は、曲げ木の美しさがよく出ている形です。

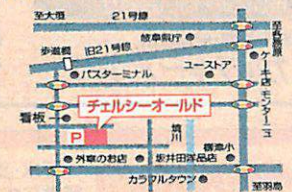


②

ティールーム併設  
**チェルシーオールド**  
 営業時間/11:00~18:00 休/火曜日

さて、「アンティークのお話と季節の紅茶の会」は、お陰様で好評をいただき、4月分は満席となりました。興味のある方、ごめんなさい。次回は6月2日を予定しています。詳細はお問い合わせ下さい。また、買い付けに出掛けるため、3月25日~4月8日、お店をお休みします。4月9日以降のご来店をお待ちしております。

「チェルシーオールド」長岡訓子



読者プレゼントあり  
 羽島郡柳津町佐波2526  
**TEL.058-270-0543**

EVENT

**アンティークのお話&季節の紅茶とお菓子**

4月13日(水) 11:00 会費800円

「英国懐話」でおなじみ、長岡訓子さんのお話を、アンティークに囲まれて聞きながら、季節の紅茶とお菓子をいただくアットホームな会。要予約。詳細はチェルシーオールドへ。

チェルシーオールド 羽島郡柳津町佐波2526 tel.058-270-0543



photo:お菓子は前回のものです



今回は「買い付け紀行」の番外編として、フランスの有名な巡礼地で世界遺産にも登録されている、モン・サン・ミッシェルのお話です。

3月下旬、中部空港セントレアから成田を経由してイギリスへ。春休みということで、今回初めて小学生の息子との二人旅です。果たして彼は、荷物持ちとして役に立つのか、ただの足手まといか。ともあれイギリス到着後、すぐにユーロスターでパリへ。2日ほどのハードな買い付けの後、息子の希望で、フランス北西部ノルマンディーにある、モン・サン・ミッシェル観光へ出掛けたのでした。

海岸線から1kmほど沖に突き出た岩山にある修道院は、8世紀に建てられた小さな礼拝堂が始まりで、13世紀に教会が増築されました。昔は満潮になると島への道が消えてしまい、巡礼者が波に吞まれて亡くなることもある危険な場所だったそうです。現在は堤防で結ばれて砂が堆積し、海水に囲まれることは稀になったようですが、バスで建物に近づいただけで、その幻想的な雰囲気を感じます。

増築を重ね、一時は監獄として利用された建物は迷路のようですが、急な坂を登り切ると、素晴らしい景色と建物にまたまた感動。ステンドグラスの使い方や窓の配置、梁や天井の雰囲気、照明もとても素敵。そんなものばかり必死で写真に収めている私を、不思議

## クニコさんの 英国懐話 「海に浮かぶ修道院」



「チエルシーオールド」長岡訓子

ティールーム併設  
**チエルシーオールド** 読者プレゼントあり  
羽島郡柳津町佐波2526  
営業時間/11:00~18:00 休/火曜日 TEL.058-270-0543



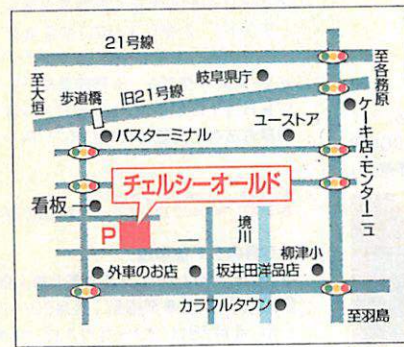
そうに眺めている息子。実は、当店でステンドグラスを購入して下さるお客様は、それをご自宅の新築やリフォームに活用される方が多いので、自然な使い方がご提案できるよう少しでも勉強なんて思いながら、他の人とはちよつと違う視点で建物を見つめてきたのでした。次回はイギリスでのお話です。

今回買い付けた商品は、今頃はイギリスを出発して海の上です。6月には店内で見ただけかと思えます。

### EVENT 最終回 アンティークのお話& 季節の紅茶とお菓子

6月1日(水) 11:00 会費800円

長岡訓子さんのお話を、アンティークに囲まれて聞きながら、季節の紅茶とお菓子をいただくアットホームな会。今回のテーマは「ステンドグラス」。要予約。詳細はチエルシーオールドへ。同会としてはこれが最終回となるので、お見逃しなく！





フェアの様子

先月に続き、買い付け紀行イギリス編。今回の買い付けは、家具のほか小物にも力を入れるつもりで、二つの大きなフェアに行きました。一つはスウィングピア。ジャンクな物を中心の露天だけのフェアです。通常、フェアは早朝からの開場なので、いつものように朝5時には現地に到着して準備万端！と張り切っていたら、車はなけりや人もいない。開場が遅くなっている？ ティーラー達は前日から準備しているお店はありますが、まだテントやハンの中で眠っているらしく、静まり返っています。入場チケット売りの人より先に来てしまった私は、チケットを買わずに入場できた。ここの話もの、真つ暗な中、車で約1時間待つ羽目に。なんだか肩透かしをくらった気分です。ともあれ、店開きが始まればいつものように人が増え、買い付けはやはり、少し暗いうちが勝負でした。

ちなみに、もう一つのニューアークは、何と昼からの開場。こちらは前日に知人から聞いていましたが、知らずに真つ暗なうちから来ていたら、半日無駄にするところでした。なぜ開場が遅くなったのかは、関係者に聞いても不明。妙なところで、アンティークの世界も変わってきているんだなと実感したのでした。

さて、イングリッシュガーデンというだけあって、イギリスはどここの家も

## クニコさんの 英国懐話



「寝坊になったディーラー？」

「チエルシーオールド」長岡訓子

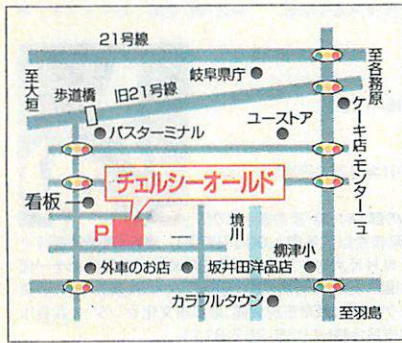
ディーラーム併設

チエルシーオールド

読者プレゼントあり

羽島郡柳津町佐波2526

営業時間/11:00~18:00 休/火曜日 TEL.058-270-0543



EVENT

### ガーデニングフェア 6月17日(金)から

スコップやバケツ、たらい、鉢などさまざま。家具、スタンドグラス、照明、小物など新着商品のフェアも同時に開催。あなただけの素敵なものを見つけてね。



庭がとても素敵。春は庭造りに最適な季節だからか、今回はスコップやバケツ、たらい、鉢など、素敵なガーデニンググッズのアンティークをたくさん見つけ、買い付けることができました。そろそろコンテナで運ばれた荷物が港からお店に到着する頃で、いつもながらウキウキした気分と、目のまわる忙しさで大騒ぎな日々がしばらく続きます。新着商品を整理したらガーデニングフェアを開催しますので、皆さん、ぜひイギリスのガーデニンググッズを探しに来てください。



フェア開催地付近ののどかな風景。  
羊はどこにでもいます。

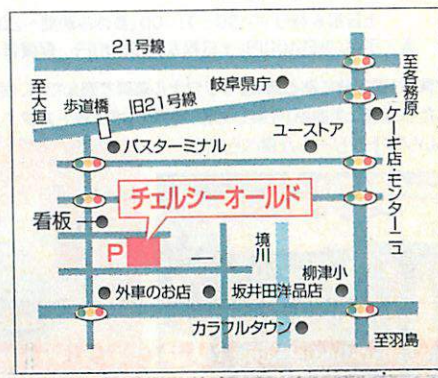
# クニコさんの 英国懐話

## イギリスに近づくリフォーム



「チェルシー・オールド」長岡訓子

ディールーム併設  
**チェルシー・オールド** 羽島郡柳津町佐波2526  
営業時間/11:00~18:00 休/火曜日 TEL.058-270-0543



今回は、イギリスの暮らしに少しでも近づけたらと思つて最近改装した、わが家についてご紹介します。

イギリスの家と日本の家の大きな違いは、壁にあると思います。イギリスの家は石造りが基本なので壁が必然的に厚く、そのため、奥行きや深さを感じます。ニッチ(壁の飾り棚)も奥行きがあつて、とつてもすてき。壁は何度も何度も塗り重ねるので、素朴さや粗さなどを感じますが、何かを真似た日本の作りには、やはり無理を感じてしまいます。

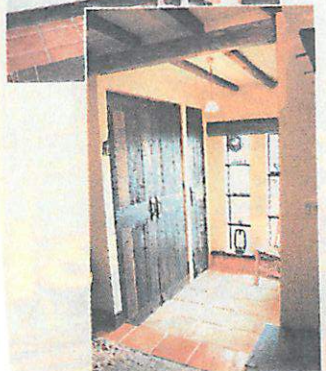
今回のテーマは「いかにイギリスらしいリフォームが出来るか」なので、古材を利用して梁(はり)を作つたり、壁を漆喰(しっくい)で塗つて少しでも奥行きのある家にしたと考えました。扉は古材を使ってステンドグラスを入れたのですが、やはり光が後ろから差すと、とてもすてきな優しい光り方をします。扉以外には、階段の上の方にステンドグラスを入れました。毎朝階段を下りるたび、うっとりしながら眺めています。

照明にもこだわりました。イギリスでは、夜、部屋の中はとつても暗く、天井からの光より、ブラケットによる壁の明かりや、フロアスタンドによる間接照明が一般的です。そのため、できるだけ明るい照明を避けて、壁に、まだカス灯だつたころのブラケットを2個と、



天井から小さなシェードをつけました。アンティークの照明は、ほのかな明るさと優しい光が魅力だと思います。

今回のリフォームで感じたことは、家は出来上がったときに完成なのではなく、手を加えるたびに味や深みが出てくるんだなということ。皆さんも少しずつ家に手を加えて、愛着ある家にしてみませんか？ 現在、店内では新着フェアを開催しています。リフォームのご相談もつががいますので、気軽に遊びにいらしてくださいね。お待ちしております。

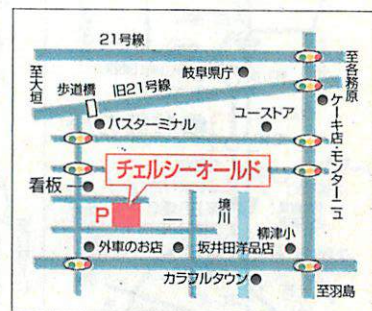


読者プレゼントあり

# クニコさんの 英国懐話 コンソメスープのグッズたち



「チエルシーオールド」長岡訓子



## ディールーム併設 チエルシーオールド

営業時間 / 11:00~18:00 休/火曜日  
羽島郡柳津町佐波2526 TEL.058-270-0543

皆さん、「OXO」って知ってますか？「オクソ」って読む、19世紀からあるコンソメスープの名前なんですよ。元々は液体状（おそらく練ったもの）で、さまざまな大きさの茶色のボトル（写真1）に入っていました。当時の販促用のカードやポスターが残っていてとてもかわいらしく、お菓子か何かの宣伝かしらと思うようなデザインです。

20世紀には固形のキューブ型になり、大変な勢いで広まりました。何個かをTIN缶に入れて売られていたようで、その箱が今では、キッチンアンティーク好きの間で人気となっています。携帯用などの小さい箱や、お専用かと思われる144個も入るタイプ（写真2）までさまざま。今でもイギリスのスーパーへ行けばそのキューブは売っていて、とてもおいしいんです。味はチキン・ヒーフ・野菜の三種類（写真3）がメインですが、大きなスーパーなどでイタリアンも売っているのを見つけました。私はマグカップにそのままホイと一つ入れてお湯を注ぐだけで、たまにスライスしたタマネギを入れたりして、朝食にいただいたりします。おそらく

これも販促用だと思われるマグカップ（写真4）が残っていて、それに一つ入れて飲むとちよつと良い味だったんでしょね。

デザインもロゴもかわいらしくて大好きなのですが、なぜか日本のキッチン用品のお店でも、「OXO」のロゴで色々なアイテムが販売されているんです。日本人のアイデアなんでしょが。イメージは違いますが、こんなところでもOXOを発売するとは……。

さて、8月には7月下旬にアメリカで買付けた品が、少しですが入荷して来る予定です。9日から16日までお休みさせていただきますが、休み明けにはアメリカのジャンクな雑貨たちが店内をにぎやかにしてくれることでしょう。どうぞ、そお楽しみに。



1



2



3



4



読者プレゼントあり

# クニコさんの 英国懐話

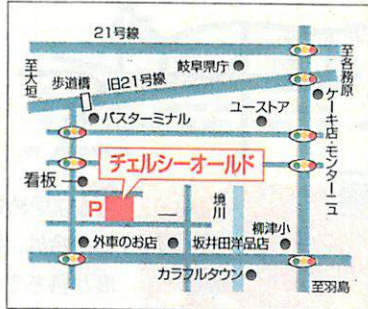
## パイレックスとスナックセット

「チェルシーオールド」長岡訓子



7月下旬、アメリカ・カナダへ買い付けに行ってきました。アメリカでの大きな目的は、耐熱ガラスのパイレックスと、スナックセットというガラスの食器(私もコレクションしています)を探すことでした。

パイレックスは、日本では現在も岩城硝子から販売されていて、ご存知の方も多いと思います。アメリカ生まれでもとても丈夫な、日常使いのできる庶民のためのガラスです。イギリスではジョブリング社という会社が生産販売していました。それぞれの国による特徴もあり、イギリスのパイレックスは、イギリスでは盛んな競技であるボウルの絵柄だったり、エレガントなバラ柄だったりします。アメリカのパイレックスは、元気が出るようなかわいらしい柄が多いです。ガラス製品は断然パイレックスが使いやすい、日常的に愛用している私は、今回見たことのない絵柄をいろいろと見つけられて大



ティールーム併設  
**チェルシーオールド**

営業時間/11:00~18:00 休/火曜日

羽島郡柳津町佐波2526 TEL.058-270-0543

喜び。価格もまだまだ手ごろでしたので、現在、たくさんのパイレックスがお店に並んでいます(写真1・2)。

スナックセット(写真3)は、カップを載せるソーサーの上にお菓子も置いてしまおうという、アメリカ人らしい発想から生まれた食器のようです。お皿が大きく、カップの横にはケーキやクッキーなどのお菓子が置けるようになっていきます。中には、タバコが置けるスペースのあるものもあります。私は、アンティークショップを始め、めると前から集めていて、何種類かのスナックセットを持っています。古いがガラスのいびつさには味わいがあり、朝食にもおやつにも使えてとても便利。今回はこのスナックセットが大量に入荷しています。ぜひ試してみてください。いいアンティークですので、どうぞ一度ご覧下さい。



8/28 (日)

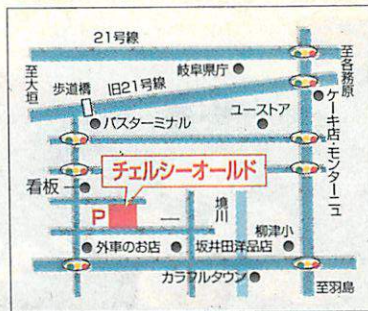
読者プレゼントあり

# クニコさんの 英国懐話 ピッチャーとパーコレーター



「チエルシーオールド」長岡訓子

アメリカのアンティークガラスフェア開催中!



ティールーム併設  
チエルシーオールド

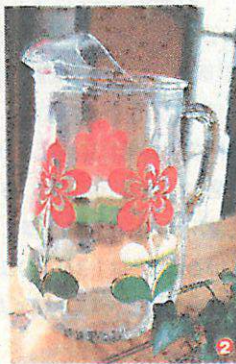
営業時間/11:00~18:00 休/火曜日

羽島郡柳津町佐波2526 TEL.058-270-0543

前回に続き、アメリカのガラス食器のお話です。イギリス、フランスへは何度か買い付けに行きましたが、今回アメリカでの買い付けを経験し、国ごとの特徴をととも感じました。皆さんも同じ印象かもしれません。やはりイギリスは全体的にエレガント。フランスは洗練されたオシャレな感じ。そしてアメリカは、機能的でかわいらしく、とても使いやすい楽しさです。そんなイメージのアンティークをご紹介します。

まずはガラスのピッチャー。丸いフォルムがかわいいボールピッチャー(写真①)と、たくさん入る縦長のガラスピッチャー(写真②)は、ともに口元に特徴があり、どちらも氷がグラスに落ちないような工夫がされています(写真③)。機能だけではないデザインの良さやかわいらしさは、さすがアメリカ!という感じ。こんなピッチャーに麦茶を入れて食卓に出したら、すてきだと思いませんか? 普段の生活に彩りを添える一品です。

もう一つはパーコレーター(写真④)。写真は前回ご紹介した耐熱



ガラスのバイレックスのもので、4杯、6杯、9杯用とサイズも豊富です。日本では断然6杯用が、アメリカでは9杯用が人気だそう。私は毎朝これでコーヒーを入れて、ゆっくりいただきます。沸いたお湯がだんだんとコーヒー色に染まり、くっくと出来上がる様子はなかなかいいものです。コーヒーの匂いが部屋中に満ちて、幸せな気分になってくれます。

こんなふうには、私も日々の生活で愛用しているアンティークが、アメリカにはたくさんありました。イギリスもフランスも歴史のあるアンティークの国ですが、今回の買い付けでは、アメリカの魅力を再発見というところ。店内では引き続きアメリカのガラスフェアを開催していますので、普段使いのガラスを探しに来てくださいね。



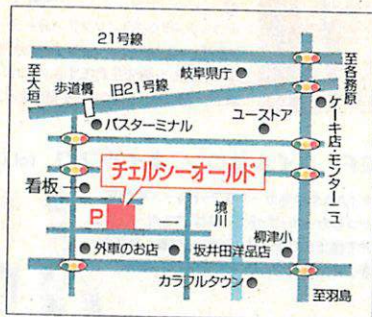
読者プレゼントあり

# クニコさんの 英国懐話



「チエルシーオールド」長岡訓子

アンティーク家具で楽しむ  
本物の「木」



ティールーム併設  
チエルシーオールド

営業時間/11:00~18:00 休/火曜日  
羽島郡神津町佐波2526 TEL.058-270-0543

このコラムも、今回が最後となります。家具に始まり、陶器やガラスなど、アンティークのお話をいろいろしてきましたが、最後にもう1度、家具のお話をします。

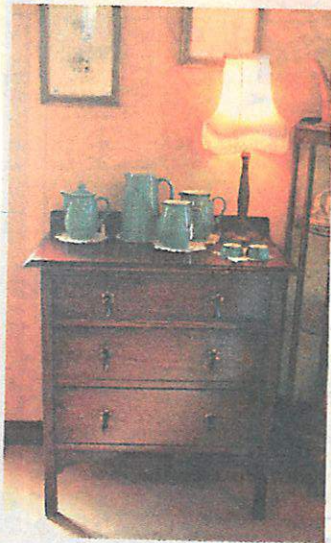


現代の家具とアンティーク家具の大きな違いは、やはり、本物の「木」かどうかということ。もちろん今も、木の良さを生かした家具作りをしている方たちはたくさんいらっしゃいますが、値段もそれなりに高く、中々出合える物ではありませんね。

アンティーク家具は一般に「高い」というイメージがありますが、実は、木の味わいを感じられる家具を、手ごろな値段で日常使用できるのです。そんなアンティーク家具の魅力をお話したいと思います。身近で楽しんでいただけたらいいなと思います。そのためメンテナンスや手直しもお教えしますので、まずはお店に足を運んでいただき、雰囲気を楽しんでみてください。

本物の木の家具に囲まれて暮らしたら、なんだかホッとできそうって、きっと感じていただけたらと思います。

お求めの際は、まず、小さなアンティーク家具から試して



みてください。何年経っても飽きない、大好きな家具になってくれると思います。また、家具と一緒に楽しむなら、曲線の優雅なアンティークのランプシェードがお勧めです。毎日、真っ白い明かりの下で忙しく過ごしていらつしやる方は、夜、アンティークの照明を1つだけつけて、ゆつたりと過ごす時間を持つてみてはいかがでしょうか。

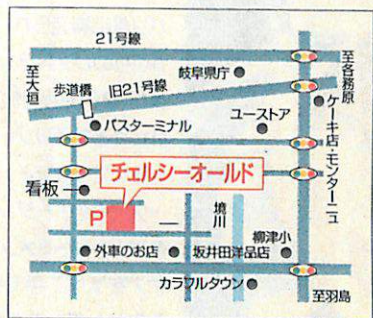
さて、例年通り、年末年始は12月27日から1月13日まで、長いお休みをいただきます。1月14日から全商品を対象にしたセールを予定していますので、この機会にお立ち寄りください。また、イギリスとフランスで買ったアンティークたちが、3月から店内に並ぶ予定です。家具やたくさんの小物が、船でやってくる予定です。どうぞお楽しみに。

読者プレゼントあり

# クニコさんの 英国懐話 キャドバリーのチョコレート



「チエルシーオールド」長岡訓子



ティールーム併設  
**チエルシーオールド**

営業時間 / 11:00~18:00 休 / 火曜日  
羽島郡柳津町佐波2526 TEL.058-270-0543

年に数回、イギリスで買い付けをしますが、いつも大きなアンティークフェアを目指して、その日程に合わせて出掛けています。このコーナーでも度々触れましたが、会場には4,000ものお店が出店していて、早朝から夕方終了まで歩き回っても、見切れないほどです。そんな大きなフェア会場には何箇所かスタンドがあつて、さまざまなお食べ物も売っています。寒い時期は、温かい飲み物も欠かせません。イギリスでは一般にミルクティーですが、疲れてくるとホットチョコレート(写真①)がとってもおいしいんです。甘いだけけれど甘ったるくなくて、後味は意外とあっさり。私は昼食まではミルクティー、その後、疲れてくるとホットチョコレートをいただくのを楽しみに、買い付けを頑張ります。そのチョコレートはキャドバリーというメーカーで、イギリスではこのスーパーへ行っても売っています。

キャドバリーは1824年から続く、歴史ある会社です。それ以前から、上流階級にはココアやチョコ



コレートを飲む習慣がありました。が、1830年以降、まだまだせいとく品ながらも、一般庶民へ普及していきます。1854年からは英国王室御用達となり、現在に至っています。このキャドバリーの宣伝用チラシや看板が、アンティークの世界でも人気なのです。かわいらしくてすてきで、歴史を感じます。残念ながら当店には置いてないのですが、キャドバリーのホームページなどをご覧になってみてください。現在のパッケージ(写真②)もおしゃれです。

そのキャドバリーのホットチョコレートを、この秋から店内でもお飲みいただけるようになりまし。同じくキャドバリーのチョコブラウニー(写真③)と共に、コクのある味わいを楽しんでいただけます。イギリスの友人も、キャドバリーのチョコブラウニーの味は格別!とのこと。ティーコーナーで人気商品スコーンと共に、イギリス気分を過ごすことができます。ご来店をお待ちしています。